

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道379号 <small>いわや</small> 岩谷バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県	
起終点	自：愛媛県伊予郡砥部町岩谷 <small>えひめけんいよぐんとべちよういわや</small> 至：愛媛県伊予郡砥部町万年 <small>えひめけんいよぐんとべちようまんねん</small>				延長	5.8 km	
事業概要	一般国道379号は、愛媛県松山市を起点として国道33号を重用し砥部町で分岐して広田村、小田町を経て内子町に至る、延長約41kmの幹線道路である。 岩谷バイパスは、人家等が連担する幅員狭小・線形不良区間や落石・崩壊の危険箇所などの交通障害を解消し、広域幹線道路としての機能を発揮するとともに、沿線地域住民の安全確保・生活改善に寄与するものである。						
H1年度事業化	H1年度都市計画決定 (H1年度変更)		H2年度用地着手		H5年度工事着手		
全体事業費	130億円		事業進捗率	45%	供用済延長	2.3km	
計画交通量	4,800台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (事業費/事業全体)	66/156億円 (事業費：63/153億円 維持管理費：3/3億円)		総便益 (事業費/事業全体)	99/169億円 (走行時間短縮便益：92/161億円 走行費用減少便益：6/7億円 交通事故減少便益：1/1億円)
	(残事業)	1.5				基準年	平成15年
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 他5項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	国道379号・380号改良促進期成同盟会（伊予・上浮穴・喜多郡の4市1町）による事業促進の強い要望があるほか、地元も事業実施に協力的である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	川登地区のトンネル計画地点に腐蝕（銅・硫化鉄）が見つかったことからルートの変更と慎重な地質及び水質の調査が必要となった。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業の進捗率は44.6%（事業費換算）であり、平成9年度までに2.3kmを供用している。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	当工区は、本路線の最後に残された未整備区間であり、早期整備が必要不可欠である。今後は、残る3.5km区間を3工区に分け順次供用することにより、整備効果の早期発現に努める。						
施設の構造や工法の変更等	腐蝕の影響を極力受けないトンネルルートに変更し、掘削ずりの処理方法について案が固まったことから平成17年度からトンネル掘削に着手する予定である。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図	<p style="text-align: center;">岩谷バイパス L=5.8 km</p> <p style="text-align: center;">供用済(2/2) L=2.3km</p> <p>（起）伊予郡砥部町岩谷 （終）伊予郡砥部町万年</p> <p>松山市 砥部町 川登トンネル 新川登橋 新千里口橋 万年口橋 万年トンネル 小田町</p> <p>凡例                  ■ 供用中                  ▨ 再評価箇所                  ▩ うち供用中</p>						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。